

Proof Chekcker PRO Ver.2d から 2.1 へのマイナーバージョンアップ詳細について

Proof Checker PRO をご愛顧頂き、ありがとうございます。
09/10/08 日付で、下記の修正を含むマイナーバージョンアップを行いました。
バージョン「2d」からのマイナーバージョンアップ詳細は以下の通りです。

◎新機能

● OS 共通



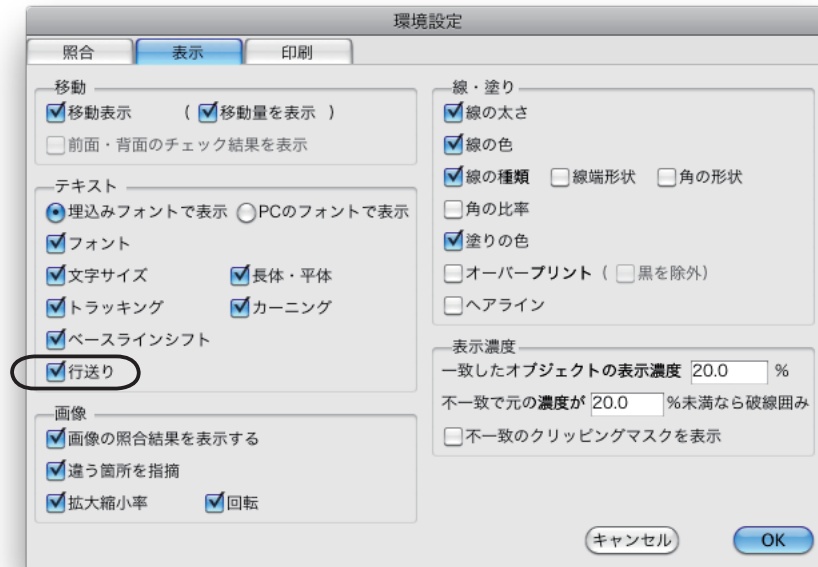
- 「環境設定」→「照合」タブ「照合対象」→「テキスト／画像／パス」を追加しました。PDF の要素は大きく「テキスト」「画像」「パス」に分類分けすることができます。「環境設定」→「照合」タブに「照合対象」→「テキスト／画像／パス」のチェックを外して照合を行うと、その要素は照合されず、処理時間もチェックが入っている場合と比較すると速く処理されます。

※但し、「テキスト」「画像」「パス」全てのチェックを外すと、照合は行われませんが結果のみ表示されます。少なくともどれか一つにチェックを入れて処理を行ってください。

※「テキスト／画像／パス」のいずれかのチェックを外して照合を行い、「環境設定」→「出力」タブの「ファイル名を印刷」のチェックを入れて照合結果を出力すると、照合対象から外された設定が印字されます。

例> 「画像」のチェックを外して照合行い出力した場合
ファイル名の隣に「画像を除いて照合」と印字されます。

- 「環境設定」 → 「表示」 タブに 「テキスト」 → 「行送り」 のチェックを追加しました。



照合結果より、文字列の不一致なく、行の位置のみ変更されている場合のマークをオンオフすることができます。

◎改善点及び不具合修正

● OS 共通

- 文字列の不一致指摘に関するロジックを改善しました。
Proof Checker PRO では、PDF 内ではバラバラのブロックとして存在している文字を照合する際に、つなげて処理を行っています。
但し、階層の違いなどにより、文字がつながられず、PDF の見た目は同じであっても、文字ブロックのつながりの違いから不一致指摘されることがあります。最新版では、この文字をつなげるロジックを改善しました。
- 短い罫線を合わせることで表を形成しているようなデータを照合した場合、照合処理が短く処理されるよう、ロジックを改善しました。
- シェーディングパターンの照合及び表示に対応しました。
- PDF のバージョン 1.5 以上のファイルを照合する場合、データにより読み込み時に強制終了してしまうことがある不具合を修正しました。
- 特定のデータを照合するとログウィンドウに「未対応カラースペース PDF uncompress error」と表示される不具合を修正しました。
- 特定のデータで照合結果の日本語と英語の文字間隔が正しくない不具合を修正しました。
- ベースラインシフトの不一致指摘について、データにより不自然な指摘であったのを改善しました。

● Windows 版

- 照合結果を PDF 化した際に、斜体文字が出力されない不具合を修正しました。
- Windows Vista で照合結果を Adobe PDF プリンタキューを使用して PDF 化しようとする
と、データにより強制終了してしまう不具合を修正しました。

● Mac OSX 版

- 照合する PDF のファイル名が非常に長い場合、ファイル読み込み時に強制終了してしまう不具合を修正しました。

以上